

原風景を目指して。

整備にあたっては、地域住民参加の計画立案を実施しました。西之谷ダムは、通常水を貯めないダムであるため、貯水池をかつての地域の原風景を目指してビオトープ化を図ることとしました。具体的には、貯水池全体に田んぼの風景を復元した棚田や湿地、クリーク(※1)などを整備し、もともとコンクリートの護岸だった部分は全て撤去しました。川自体を自然に近い姿に戻すことで、自然の営みを復元することに成功しています。

※1 低湿地につくられる小さな水路。



N31度36分3秒 E130度30分7秒
(31.601,130.502)



After

新川水系新川

Shinkawasukei SHINKAWA